

MDHCだより NO. 67

H26. 7. 7

三河歯科衛生専門学校

初めての実習生を受け入れるにあたって

若林歯科 院長 米崎 美桜

当院では、本年1月より初めて実習生を受け入れることになりました。

受け入れにあたり、スタッフと「実習生との関わり方」について考えるミーティングを行い、次のような意見をまとめました。

- ・実習生は衛生士学校から、また親御さんからお預かりしている大切な身であり、当院で雇用しているわけではない、そのため、無用な片づけや雑用など当院の都合だけで働かせるようなことはしない。
- ・実習生が不用意な患者さんとのトラブルに巻き込まれたりしないよう、常勤スタッフは実習生ほったらかしにしない。
- ・見ているだけの受け身の实習ではなく、たくさん臨床を感じられるように実地もしっかり体験してもらう。

そして指導に関わる衛生士が、実習中のカリキュラムや院内マニュアルを用意し、実習生の受け入れをスタートしました。初日はチーフ衛生士から、当院の紹介や衛生士業務についてオリエンテーションを行いました。また衛生士からだけでなく受付、トリートメントコーディネーターからも業務内容をプレゼンする時間も設けています。

近年は歯科衛生士専門学校を卒業しても、歯科衛生士として働かない方も沢山みえると聞いています。歯科衛生士という素晴らしい職業についたからには、できるだけ長く歯科衛生士として働いて、沢山の患者さんから感謝の言葉をもらってほしいと考えています。実習生さんに「早く衛生士になりたい」と思ってもらえるよう、これから社会人となる若い人たちに、歯科界が魅力のある業界として認められるよう、期待を裏切らない実習先として、日々努力していきたいと思ひます。



1. 3期臨床実習を終えて

1) 臨床実習3期アンケートから

「実習内容で費やした時間の多いもの」

1・2期同様、診療補助が一番多く全体の約6割であった。割合は変わらないが、『準備がスムーズにできるようになった。』『最後まで1人で診療補助ができた。』など内容の充実が伺えた。

「実習以外での時間の使い方」

『実習帳の記録』が一番多いが、6割あった1・2期よりも減り、3期では5割を切った。その分の大半が『テレビ』になっている。また平均勉強時間も期ごとに減っている。実習への“慣れ”がこういった形で表れたのではないかと危惧している。初心に戻ることも大切である。

「生活について」

朝食・夕食の欠食が気になる。平均睡眠時間は6時間34分であったが、多い学生は9時間、少ない学生は4時間とかなりの差がある。基本的な生活習慣を整え、実習に臨んで欲しい。

「臨床実習の感想」 ~抜粋~

『視野を広げて、たくさんの方に興味をもつことの大切さを学んだ。』『色々なことを経験させていただき、全ての面において新鮮で刺激であった。』『できることが増え自信が付き、患者さんに伝えたいことが増えた。』『入院中の患者さんの口腔内をみることができ、周術期のケアについても学ぶことができました。』など、できなかったことを悔やむこれまでの内容とは違い、前向きにとらえた内容や自信がついた様子が伺えるものが多かった。

2) まどかの郷実習(特別養護老人ホーム)

~学生感想文~抜粋~

『目の不自由な方の食事介助をさせていただきました。授業で習ったように、唇にスプーンをあててみましたが、なかなか上手くいかず戸惑いました。続けていくにつれ、タイミングや好きな食べ物が分かるようになっていきました。』

『口腔ケアでは声かけをしっかりと行うよう心がけました。1人の利用者の方に“歯をきれいにしてもらおうとスッキリして気持ち良い。歯がある時のことを思い出した。今ある歯を大事にするよ。ありがとう。”と言われ、私の行った口腔ケアがその方にとってプラスになっていれば嬉しいと思いました。』



~まどかの郷実習(口腔機能向上トレーニング)~

3. 主な行事予定

・終業式	7/24(木)
<1・2年生>	
・夏休み	7/25(金)~8/31(日)
・始業式	9/1(月)
<3年生>	
・夏休み	7/25(金)~8/27(水)
・始業式	8/28(木)